

アメリカ西海岸出張

最近、世界移植会議出席のためサンフランシスコに出張する機会があった。ついでにロサンゼルスに住む高校時代の同級生に会う時間を取ることにしたため、アメリカ西海岸2都市を続けて訪れることになった。

ロサンゼルス国際空港はアクセスが悪いことで有名で、鉄道が整備されていないうえに、タクシー乗り場（ほぼすべてウーバー）もシャトルバスを使ってようやくたどりつけるような変な場所にある。今回あえてバスとトラムを乗り継いで、ホテルまで行くことにしたが、確かに大変だった。オリンピックを数年後に控え、輸送手段の整備を急いでおり、以前よりだいぶ改善したそうだが、まだまだである。

到着翌日には市内を同級生が案内してくれたため、効率よく観光できた。ドジャースの試合はなかったものの、リトル・トーキョーではビルの壁面に巨大な大谷翔平選手の姿が描かれており、人気の高さがうかがわれた。ハリウッドは思ったより狭い領域だったが、知っている名前を Walk of Fame で見つけるのはなかなか楽しい。『La La Land』に登場するグラント・セントラル・マーケットで昼食をとり、エンジェルズ・フライトやグリフィス天文台（中には入れなかったが）に立ち寄ることができた。最後、自宅でステーキとロブスターの豪華ディナーをご馳走になったが、家はビバリーヒルズの一角にあり、正確な額は聞いていないが、聞かずとも日本の大学教授の給与ではとても手が届かないということがよく分かった。2025年1月の大火災では4キロ先まで火が迫り、相当危なかったそうである。奥さんも医学研究者ということもあり、トランプ政策のアカデミアへの影響について聞いてみたが、研究費削減のインパクトが大きく、かなり厳しいようである。ただ、トランプ政策全般の是非については全米でもほぼ評価が二分されているようで、外野からは早くやめてほしいといった意見が多数だと思うが、シンパもけっこう存在するということであり、アメリカ国内の分断が危惧されるのもさもありなんである。また、最近、政権の意向に従順とされる人物が最高裁判所判事に就任しているらしく、大統領は4年2期までという制限があるが、判事は基本的に終身制なので、そのほうがむしろ問題だという話であった。旧交を温めつつ、とてもよい社会勉強になった。

次の日はサンフランシスコに移動して学会に参加し、多くの移植外科医の知り合いと再会できたのは大変有意義であった。北米日本人支部会に初めて出席したが、異国の地でたくさん日本人外科医が苦勞しながらも確固たる地位を築いてきた歴史の重みや彼らの強い絆を感じた。学会発表を聞くと、機械灌流などの技術の進歩が目覚ましく、日本は大きく後れを取っていると改めて認識した。外科医の手術技量自体はまだまだ日本のほうが上だと信じているが、科学という視点からはもはや後進国だと思う。現状に安穩とせず、進取の気概をもって貪欲に取り組まねばなるまい。そういえばつい半年前には全く見かけなかった自動運転タクシーがサンフランシスコの街を走っていた。時代の流れはかくも速い。

（長谷川 潔）

顧問 森岡恭彦 今村正之 山崎洋次 幕内雅敏 名川弘一
亀岡信悟 國土典宏 幸田圭史 佐野 武
編集 長谷川 潔 船橋公彦 山下裕玄

臨床雑誌 外 科	第 87 巻 第 12 号 (11 月号)	2025 年 11 月 1 日発行 (1105 号)
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号	小 立 健 太
印刷所	東京都千代田区飯田橋二丁目 15 番 5 号	日経印刷株式会社

発行所 ☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42-6 (営業) TEL 03-3811-7239 : 振替口座 00120-1-149 番
株式会社 南江堂 (編集) TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 <https://www.nankodo.co.jp/>

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

広告申込所：☎ 113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 24 番 6 号本郷大原ビル 6 階 文京メディカル TEL 03-3817-8036